



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月28日

上場会社名 杉本商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 9932 URL <https://www.sugi-net.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉本 正行
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 中根 潤二 (TEL) 06(6538)2661
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	36,277	△2.3	1,601	△22.5	1,951	△19.1	1,369	△14.5
2025年3月期第3四半期	37,118	5.0	2,066	9.7	2,412	5.6	1,601	7.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,911百万円(28.2%) 2025年3月期第3四半期 1,491百万円(△27.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	75.29	—
2025年3月期第3四半期	81.50	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	43,799	33,378	76.2
2025年3月期	42,406	35,485	83.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 33,378百万円 2025年3月期 35,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	27.00	—
2026年3月期	—	27.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」としております。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の1株当たり期末配当金は54円、年間配当金は89円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,800	4.7	2,380	△0.7	2,960	1.8	1,935	0.9	101.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	22,798,474株	2025年3月期	22,798,474株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	5,320,209株	2025年3月期	3,642,260株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	18,187,261株	2025年3月期3Q	19,648,110株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業の設備投資や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調を示しました。一方、米国の関税政策など外需の不透明感が続き、輸出は弱含みで推移しました。物価上昇は原油安や円安一服により鈍化し、実質賃金も改善方向にあります。総じて、国内需要が下支えする一方、海外リスクに注意を要する状況となりました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、生成AI・半導体・二次電池・自動化やDXを中心に設備投資の持ち直しが進む一方、鉄鋼・建設・工作機械・民生エレクトロニクス等ではコスト高や在庫調整、EV減速の影響から投資は慎重で、分野間の濃淡が際立つ選別的な環境が続いております。

このような環境のもと、2024年5月に発表した第4次中期経営計画『Start of the next 100 years～変化へチャレンジ』に基づき、変化に強い筋肉質な企業体質への転換を図るとともに、顧客視点を重視した経営を推進し、グループ一丸となって挑戦を続け、当該経営計画の着実な遂行に取り組んでまいりました。また、当グループは2025年4月25日、株式会社INDUSTRIAL-Xと資本業務提携契約を締結いたしました。これにより、INDUSTRIAL-X社が持つコンサルティング力・技術力と、当グループの顧客基盤・DX商材を掛け合わせる事が可能となり、生産現場のDXコンサルティングから導入までをスピード感をもって一気通貫で提供し、製造業のDX化に貢献してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高362億77百万円（前年同期比2.3%減）、人件費の増加、人的資本の投資、本社屋および新基幹システムの減価償却費等により経常利益19億51百万円（前年同期比19.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益13億69百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（東部）

東部では、AIサーバ向けを中心とした半導体材料・製造装置関連の需要が堅調で、主要顧客における設備補修・更新案件も増加しましたが、鉄鋼・建設・工作機械など幅広い分野で投資抑制や需要停滞が続き、民生エレクトロニクスの在庫調整やレアアース規制による材料高騰などの影響も続いており、当該期間の業績は全体として低調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は85億8百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント利益は2億91百万円（前年同期比40.6%減）となりました。

（中部）

中部では、半導体関連分野において設備投資の動きに連動する形で取引が堅調に推移し、各業界でも体制整備を進めた企業を中心に一定の需要を取り込む動きがみられましたが、鉄鋼関連は生産水準が伸び悩み、自動車分野も特化した案件はあるものの全体としては力強さを欠き、業界内の需要の細分化が進む中で分野ごとの差がより鮮明となっており、当該期間の業績は全体として低調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は103億50百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は3億79百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

（西部）

西部では、製造業において労働力不足や人件費上昇を背景とした自動化・省力化投資が堅調に推移し、DX・GX関連を中心とした設備投資も増加しましたが、自動車業界ではEV市場の世界的な減速を受け機械装置メーカーの案件量が減少し需要が伸び悩み、当該期間の業績は全体として低調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は159億81百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は8億21百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

（海外）

海外では、アジア地域においてベトナム向け取引が堅調に推移し、中国でも半導体関連の需要継続により関連取引が好調となり、円安による価格競争力の向上や在庫積み増し需要も受注増につながる動きがみられましたが、韓国では景況感の悪化により取引が低調で主要得意先も前期並みの維持にとどまり、当該期間の業績は全体として売上は好調でしたが、利益は低調に推移致しました。

この結果、当セグメントの売上高は14億36百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は1億9百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は437億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億93百万円増加しております。資産につきましては、主に投資有価証券が18億62百万円、受取手形及び売掛金が4億86百万円、商品が5億73百万円増加した一方で、現金及び預金が8億33百万円、電子記録債権が2億32百万円減少したためであります。負債は104億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億99百万円増加しております。これは主に短期借入金が23億円、買掛金が13億86百万円、繰延税金負債が3億87百万円増加した一方で、未払法人税等が4億40百万円、未払費用が3億9百万円減少したためであります。また、純資産は333億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億6百万円減少しております。これは、主に利益剰余金が3億50百万円、その他有価証券評価差額金が5億67百万円増加する一方で、自己株式取得に29億99百万円を支出したためであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,321,054	6,487,629
受取手形及び売掛金	10,922,460	11,408,590
電子記録債権	5,428,440	5,195,709
商品	1,639,666	2,213,343
その他	351,256	154,072
貸倒引当金	△1,571	△1,594
流動資産合計	25,661,307	25,457,750
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,778,950	3,613,728
構築物（純額）	55,692	51,232
車両運搬具（純額）	11,001	7,513
工具、器具及び備品（純額）	70,439	67,154
土地	6,170,872	6,274,050
建設仮勘定	—	3,469
有形固定資産合計	10,086,958	10,017,150
無形固定資産		
電話加入権	38,894	38,894
ソフトウェア	1,068,381	885,097
のれん	240,020	196,816
無形固定資産合計	1,347,295	1,120,808
投資その他の資産		
投資有価証券	4,280,783	6,143,539
出資金	14,860	14,860
退職給付に係る資産	774,000	803,345
差入保証金	223,016	222,193
その他	20,625	22,377
貸倒引当金	△1,960	△2,100
投資その他の資産合計	5,311,325	7,204,215
固定資産合計	16,745,579	18,342,173
資産合計	42,406,886	43,799,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,101,931	5,488,524
短期借入金	—	2,300,000
未払金	320,580	270,340
未払費用	690,172	381,018
未払法人税等	575,075	134,199
未払消費税等	88,577	163,294
その他	55,396	200,418
流動負債合計	5,831,734	8,937,796
固定負債		
長期末払金	125,500	125,500
長期預り保証金	152,851	156,001
繰延税金負債	686,687	1,074,101
退職給付に係る負債	124,827	128,001
固定負債合計	1,089,865	1,483,604
負債合計	6,921,600	10,421,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,597,406	2,597,406
資本剰余金	2,529,295	2,529,295
利益剰余金	32,307,907	32,658,816
自己株式	△3,933,919	△6,933,868
株主資本合計	33,500,689	30,851,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,831,064	2,398,860
退職給付に係る調整累計額	153,531	128,012
その他の包括利益累計額合計	1,984,596	2,526,872
純資産合計	35,485,286	33,378,522
負債純資産合計	42,406,886	43,799,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	37,118,260	36,277,179
売上原価	29,725,738	28,983,576
売上総利益	7,392,521	7,293,602
販売費及び一般管理費	5,326,278	5,691,797
営業利益	2,066,243	1,601,805
営業外収益		
受取利息	1,125	3,752
受取配当金	54,845	68,003
仕入割引	212,881	203,516
不動産賃貸料	88,755	104,530
その他	12,545	15,753
営業外収益合計	370,153	395,557
営業外費用		
支払利息	707	11,065
自己株式取得費用	13,836	26,998
その他	9,200	8,088
営業外費用合計	23,744	46,153
経常利益	2,412,652	1,951,209
特別利益		
固定資産売却益	2,129	12,974
投資有価証券売却益	—	109,264
特別利益合計	2,129	122,238
特別損失		
固定資産除売却損	11,420	10
特別損失合計	11,420	10
税金等調整前四半期純利益	2,403,361	2,073,437
法人税、住民税及び事業税	692,554	582,268
法人税等調整額	109,433	121,760
法人税等合計	801,987	704,029
四半期純利益	1,601,373	1,369,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,601,373	1,369,407

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,601,373	1,369,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,340	567,795
退職給付に係る調整額	△23,348	△25,519
その他の包括利益合計	△109,688	542,275
四半期包括利益	1,491,685	1,911,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,491,685	1,911,683
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	2,468,420	2,399,820	2,853,058	1,063,472	8,784,771
工作用器具	293,950	878,715	865,400	35,029	2,073,095
機械器具	2,668,277	3,232,430	5,720,696	128,969	11,750,373
空・油圧器具	1,730,713	1,847,575	4,008,150	58,393	7,644,833
その他	1,810,113	2,140,561	2,870,418	44,092	6,865,185
顧客との契約から生じる収益	8,971,475	10,499,103	16,317,723	1,329,957	37,118,260
外部顧客への売上高	8,971,475	10,499,103	16,317,723	1,329,957	37,118,260
セグメント利益	491,098	543,062	912,221	119,860	2,066,243

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益で行っており、差額はあります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	2,211,098	2,405,141	2,658,495	1,104,544	8,379,281
工作用器具	245,596	798,098	874,204	47,633	1,965,532
機械器具	2,509,993	3,085,010	5,154,297	160,322	10,909,623
空・油圧器具	1,804,117	1,804,768	4,065,378	79,259	7,753,523
その他	1,737,418	2,257,754	3,229,556	44,489	7,269,218
顧客との契約から生じる収益	8,508,224	10,350,774	15,981,932	1,436,248	36,277,179
外部顧客への売上高	8,508,224	10,350,774	15,981,932	1,436,248	36,277,179
セグメント利益	291,722	379,035	821,979	109,068	1,601,805

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益で行っており、差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	207,428千円	404,328千円
のれんの償却額	43,203千円	43,203千円